



小さく可憐な一級品 「平群の小菊」

京阪神を中心に全国の生花市場から高い評価を受けている『平群の小菊』。平成21年に花き部門としては、全国初の地域団体商標を取得。夏秋期は、日本一の生産量を誇ります。「西和花卉部会」が、花持ち良く、バラエティーに富んだ約200種類以上の品種を作付けています。



平群町の産業



大きな粒に甘みがぎゅっ 「いちご」

奈良県の開発品種である「アスカルビー」や「古都華」を中心に、近年では、「パールホワイト」や「淡雪」などの白色や桃色系系統品種の珍しいいちごも栽培。特に「古都華」は県内トップの生産量。主にいちごを立ったまま収穫できる高設栽培で、平群の冬から春に甘い香りを漂わせています。

「平群の小菊」「いちご」「ぶどう」「バナナ」。全国に誇れる農産物が数多く栽培されています。いずれも、生産者が大切に育てた高品質のものばかり。近畿大学、民間企業との連携事業にも力を入れ、農産物の商品開発で地域を盛り上げています。自然豊かな平群町だからこそその産業は、未来にもしっかりと繋いでいきたい平群の宝です。